

第10回フランコフォニーを発見しよう！

主催：日本におけるフランコフォニー推進会議
日本フランス語教育学会
法政大学国際文化学部

日時：2018年12月08日（土）13:30～18:00

会場：法政大学、市ヶ谷キャンパス（東京）

1. 講演：

高橋 歩

国際協力機構（JICA）

産業開発・公共政策部ガバナンスグループ法・司法チーム 副調査役

「国際協力における知られざるフランコフォニーの価値」（仮題）

（日本語）

2. フランコフォニーに関するクイズ

3. 日本におけるフランコフォニーに関するルポルタージュ

「第10回フランコフォニーを発見しよう！」開催にあたり、高校生・大学生の発表者を募集します。

1. クイズ

「フランコフォニーを発見しよう」の第二部ではクイズを行います。クイズの出題者を募集します。

クイズによって楽しみながら思いがけないフランコフォニーの側面を発見する機会を提供することが目的です。たとえば、アフリカ大陸やカナダのフランス語圏などに関する問題など…具体的な例を挙げれば、フランスで「かくれんぼ」というのは Cache-cache といいます、ケベックでは La cachette と言います。

クイズの出題・発表に参加したい方は連絡してください。

発表形態・時間：グループ発表、パワーポイント使用、10分程度。

使用言語：フランス語と日本語による発表を優先しますが、フランス語のみ、日本語のみの発表も受け付けます。

応募方法：クイズのレジユメを下記応募先へメールで送付。大学、高校名と氏名を明記。

2. 日本におけるフランコフォニーに関するルポルタージュ

日本におけるフランコフォニーの面白い側面を紹介するルポルタージュを募集します。例えばフランス語圏の国々から来られて日本で生活している方々（レストランや商店経営をしている方、起業家、学生、教師など）の紹介など。自由な発想で日本のフランコフォニーを紹介してください。またフランス語圏の各国大使館に問い合わせるのもいいでしょう。表現形式は画像、音声、映像、文書いずれも自由です。

発表当日、日本におけるフランコフォニー推進会議の審査により優秀作品には賞が与えられます。また作品は「フランコフォニーを発見しよう」のサイトに掲載されます。

2017年のルポルタージュが以下のアドレスから Google drive 上で見られます。

<http://ur2.link/Lnt9>

2014年のルポルタージュは「フランコフォニーを発見しよう」のサイトで見られます。

<http://sjdf.org/jdf/>

発表形態・時間：グループ発表、パワーポイント使用、15分程度。

使用言語：フランス語と日本語による発表

応募方法：ルポルタージュのレジユメを下記応募先へメールで送付。大学、高校名と氏名を明記。

応募先：日本フランス語教育学会フランコフォニー委員会 小松祐子

[sachiprof\(a\)gmail.com](mailto:sachiprof(a)gmail.com) *(a)を@に置き換えてください。

応募の締め切り：10月10日

発表の依頼：10月20日までにメールにてご連絡します。

*応募が多数の場合は止むを得ず選考を行うことがあります。

*なお参加者の当日会場までの交通費の一部が補助される場合があります。詳しくは上記応募先へメールで問い合わせてください。

